

## 広島県へ緊急事態宣言 発令(令和3年 8 月 25 日)

○ 本日は、広島県に 緊急事態宣言が発令されたことを受けて、今後の対応についてご説明します。

### スライド 2

○ 県内の感染状況ですが、多くの指標が分科会参考指標のステージ3の目安を上回っており、ステージ4の目安を上回っている指標も多くなっています。

○ よって全県でのステージは4です。

### スライド 3

○ 県内各市町の感染状況に着目しますと、多くの市町において感染が拡大しています。市町ごとの人口の違いの影響もありますが、非常に高い水準となっています。

### スライド 4

○ こちらは、本県独自の指標である県外人流指標です。

○ この指標は、東京都・大阪府の感染状況と本県への往来を基に本県の感染拡大の予兆を観測しているものです。

○ この指標が、お盆に過去に例がないほど高い値となっています。

○ このことから、多くの感染者が報告されている東京・大阪から本県を訪れた方が多くいたということが推測されます。

### スライド 5

○ 次に、夜の人出についてです。過去、広島市中心部の滞在者数が5,000人台まで削減されると、感染状況の改善が見られました。

○ 現状では、7,000人台であり、さらに人出を削減するための取組が必要な状況です。

### スライド 6

○ 昼の人出についてです。大雨の影響で減少している時期も見られますが、まだまだ昼の人出は削減できていません。

#### スライド 7

○ こちらは、7月から開始した早期集中対策が効果を発揮した場合を想定した直近1週間の人口10万人あたり新規報告数の推移予測と実際の数値の推移を示したものです。対策開始直後には、効果発揮が期待される推移を示していましたが、先ほどご説明したように人の流れを止めることができず、感染爆発にいたってしまいました。

○ 感染力の強いデルタ株の影響もあると推測していますが、なんとかここで拡大を食い止める必要があります。そうしなければ、医療提供体制等に大きな影響を及ぼしてしまいます。

#### スライド 8

○ 実際に、医療体制については、直近では確保病床使用率が50%近くまで急増しています。今後、急速に医療がひっ迫するおそれがあります。

#### スライド 9

○ 宿泊療養施設については、使用率が7割を超えています。このままでは確保室数の限界を迎えてしまいます。これまで、拡大に先立ち多くの室数の確保を進めてきましたが、それでも、現在の感染拡大に対応できない可能性があります。

○ 宿泊療養施設のさらなる確保に全力を挙げていますが、これまで宿泊療養としてきた、無症状者等に自宅療養していただく可能性もあります。

#### スライド 10

○ 医療の体制が危機的状況になるとみており、そのためにさらなる人流の抑制を行うため国に対しては、緊急事態宣言の適用を要請し、この度、適用されました。

#### スライド 11

- どうして人との接触を8割削減するために人出を半減させないといけないのか、改めてお伝えします。
- 当たり前のようにですが、人同士の接触は、ウイルスを行き来する機会を増やします。
- 県外からの流入で、デルタ株の置き換わりが急速に進みこれまで以上に徹底して接触機会を下げないと、まん延し続ける恐れがあります。
- 今いちど、人出を減らすことの重要性をご認識頂きたいと思います。

#### スライド 12

- ここからは要請についてです。まず、①県内全域の、酒類またはカラオケ設備を提供する飲食店へ、原則、休業を要請します。
- もし休業しない場合20時までの時短営業かつ、お酒やカラオケ設備の提供は行わないことを要請します。協力金と早期給付についてはご覧の通りです。原則27日からの協力となりますが、食材や酒の仕入れなど、やむを得ない事情がある場合には2日間の猶予期間を設けます。

#### スライド 13

- 続いて県内全域の、①以外の飲食店へは時短営業を要請します。協力金はご覧の通りです。①と同じく、早期給付や猶予期間があります。

#### スライド 14

- 続いて、人が集まる大規模施設についての制限です。1,000㎡超の大規模施設を運営する事業者を対象とした時短要請を継続します。
- 劇場等(映画館、劇場など)で1,000㎡を超える施設は、5時から20時までの営業時間短縮を要請に加え、人数上限を、5,000人もしくは収容率50%の少ない方としてください。

○ なお、人流抑制等を図るため、大規模施設等に対する更なる追加措置を実施します。

#### スライド 15

○ また、1,000㎡を超える大規模商業施設と、百貨店の地下の食品売り場等については入場者の整理等を要請します。

○ 具体的には、

- ・出入口へセンサー等を設置して入場者を計測、
- ・出入口の数の制限、
- ・入場整理券の配布

などの方法により、人数管理や人数制限等を行ってください。

○ また、入場者数については令和元年12月以前の半数程度を目安に、入場整理等を徹底してください。

#### スライド 16

○ 1千平方メートルを超える大規模施設への協力金については、ご覧のとおりです。単価につきましては、前回と同様です。

○ 原則27日からの協力となりますが、テナントへの周知等、やむを得ない事情がある場合には2日間の猶予期間を設けます。

#### スライド 17

○ 8月29日以降のイベントについて適用します。

○ 宣言発令中は、歓声等の有無にかかわらず、収容率要件50%、人数上限5,000人、が要件となりどちらか少ない方を上限とします。時間については、引き続き21時までの時短を要請します。

#### スライド 18

○ 県民・事業者の皆様への要請です。昼間は、人出が減っていません。生活に必要な買い物を含めて外出を半分にしてください。

○ 出勤者を7割減らしてください。テレワークについては、経営者や部門責任者によるトップダウンが必要だと思えます。

○ 経営者の方は、従業員を守る意味でも、テレワーク出来る業務が無いか、今一度、見直してください。

#### スライド 19

○ 夜間の人出はもう一息、減らす必要があります。そのために酒やカラオケ店舗の休業と、それ以外でも20時までの営業時短を要請しています。県民の皆さんは20時以降の外出をやめ、20時以降の勤務を抑制してください。

○ また、協力要請に応じていない店舗は利用しないでください。

○ これまで、お店が休業すると、コンビニ前などで2、3人がマスクを外し、至近距離で酒を飲んでいる人もいたようですが、お店による休業協力の意味がなくなってしまいます。路上飲みは絶対にやめてください。

#### スライド 20

○ 通院・通勤・通学を除き、県外往来は、最大限自粛してください。

○ それから、感染が増えている今、1週間で約7,500件といった多くの方が医療機関を受診し、検査を受けており、その陽性率も上がっています。

○ 無症状の方を対象としたPCRセンターや臨時スポットでも1週間で約25,000件ほど受検されています。みなさん、積極的に検査を受けて頂いているようです。

○ 引き続き、早めの受診・受検をお願いします。

#### スライド 21

○ 今、家族内感染が増えており、デルタ株の影響で、家庭内に持ち込まれると家族全員が感染するケースが急増しています。それを避けるために、10日間限りとして8月29日までより厳しい感染防止対策をお願いしているところです。

- まず、場面問わず取り組むこととして、
  - ・食事は同居家族以外とはしないください
  - ・体調に異変があるときは家族全員で検査を受けてください

#### スライド 22

- 生活シーンで取り組むこととして、
  - ・外出半減のために、外出前に必要性を確認して下さい。
  - ・買い物は3日に一度、まとめ買いをしてください
  - ・店に入るのは一人だけにしてください

#### スライド 23

- 職場で取り組むこととして、
  - ・出張せずにウェブ会議にしてください
  - ・出勤せずにテレワークをしてください
  - ・ランチは一人で食べてください

○ 厳しいと思われるかもしれませんが、この感染爆発を抑え家庭に持ち込まないために、徹底して行ってください。

#### スライド 24

○ 広島県で緊急事態宣言が発令となり、医療のひっ迫も迫り、厳しい状況です。デルタ株への置き換わりが進み、どんどん感染者が増える今、まだピークが見えませんが。

○ 県民の多くの方が、しっかりと対策をしておられる中で再々申し上げるのは心苦しいですが、お一人お一人がもう一工夫により、外出を半分にしていただかないといけない局面です。

○ ご自身の行動をもう一度見直していただき、早くピークを抑えていくために県民一丸で頑張りましょう。